民報
あばしり
NO.1303
2月7日号
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
TEL 四三－四四五八
F 四三－四四五七

市議会　臨時会
新型コロナの感染症対策、経済対策

29日に行われた臨時会でコロナ対策について市から補正予算の提案があり、全会一致で可決されました。

抗原定量検査　2月中旬から

市は高齢者施設などで感染者が発生した場合にクラスターを防ぐため、1日200検体の検査が可能な抗原定量検査体制を整備しました。

高齢者、障がい者の利用者と職員、児童福祉移設の職員については全額市が補助します。また、一般市民や企業は半額を補助します。検査を受ける方は陽性となった場合には医療機関を受診し、医師や保健所の指示に従ってPCR検査をすることが条件となります。市は抗原検査の数や検査結果については公表するとのことです。

抗原定量検査はウイルスの有無を確認する検査で、短時間で結果が判明します。1次検査となり、陽性者は医師の判断でPCR検査を受けます。

検査の流れ

高齢者施設 福祉施設 児童施設（職員のみ）	市民・企業 4500円負担

⇧ ②検査キット　④検査結果　⇩ ①申込　③検体（だ液）

保健センター 43-8450

⇧ 検査結果　⇩ 検体（だ液）

厚生病院

コロナ対策特別委員会設置される

新型コロナ感染拡大が心配される中で市民の命や暮らしを守るため、議会が情報収集や課題など議論する場を作る必要があります。日本共産党議員団は、会派代表者会議で特別委員会設置の提案をしましたが、会派代表者会議では意見が分かれて設置することにはなりませんでした。

議会運営委員会において川原田議員から特別委員会設置について提案があり、本会議において採決され14人が賛成、工藤議員が反対で特別委員会の設置が決まりました。

特別委員は、議長を除く15名で構成され、委員長は山田庫司朗議員、副委員長は栗田政男議員がなりました。近く、委員会が開かれる予定です。

特別委員会の名称…「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」

目的…新型コロナウイルス感染症から市民の生命及び健康を保護し、市民生活及び経済に及ぼす影響が最小となるようにするべく、情報の収集及び発信、国、道、市の施策・予算に対する提案・要望、さらには各政策の検証を必要に応じて行う。

松浦さとし奮戦メモ！

新型コロナウイルス対応のための特別措置法、感染症法等の改正案が1日、衆議院で自民、公明、立憲民主、日本維新の会の賛成多数で可決されました。直ちに参院に送付されましたが、日本共産党と国民民主党は反対しました。この法案の最大の問題は、感染者やコロナ対策で不利益を被る国民を「犯罪者」扱いし、責任を国民に転嫁し、国が行うべき補償を免れようとする罰則であるということです。

感染症法で、入院措置や感染経路の調査を拒否した人たちへの刑事罰は撤回されましたが、過料は残り罰則を科して強要することに違いはありません。その一方で、入院できずに自宅で亡くなる事態を放置したままですが、これによって「自宅療養」を法的に位置付け、医療機関には十分な減収補填をしないまま病床増の協力勧告に応じない病院を公表する点も問題だと思います。

政府が今なすべきは、公衆衛生・医療体制の整備ではないでしょうか。国の責任を果たさないで、国民には罰則を科すなど到底許されません。「怒りの喝だ！」

村ちゃんが駆ける

先日、除雪時の雪について相談がありました。市役所に話したが、取り合ってくれないとの事でした。「90歳になる母と二人暮らし、持病があり、除雪が大変なので、雪を間口に置かないように除雪してほしいと頼んだ。市はあなただけという訳にはいかないと言う。また、除雪サービスのことも話してくれたが、負担があるから納得できなかった」とのことです。高齢者世帯が6056世帯あるので、除雪のあり方を改善する必要があります。今回は近所に除雪してくれる人もいることから、高齢者向けの「町内会除雪サービス」のことを話し、すぐに、町内会長さんに相談、会長さんは地域で相談するとのことでした。介護福祉課も除雪してほしい人と援助できる人がいれば今からでも可能となり、町内会と相談することになりました。

半年間も雪と付き合わなければならない北海道でいかに暮らしていくか。邪魔者の雪を味方につけること、歩くスキーやワカサギ釣り、燻製づくりなども楽しみたいです。かまくらは2種類の三角形でつくるドームハウスづくりに挑戦中です。

流氷

ラジオのテレフォン人生相談が好きでよく聴きます。11時05分くらいから20分間、悩める人の相談の内容に応じて回答者の先生が真剣に答えてくれます。回答者は様々な分野で活躍されています。大好きなのはマドモアゼル愛先生、三石先生、今井通子先生、加藤先生です。1965年から続くご長寿番組です。▼「あなたの悩みは同じ悩みを持つ方の支えになるはずです。」家族のこと夫婦間のこと、嫁、姑など様々ですが、回答者Nは時に優しく、時に厳しく接してくれます。相談者は現実と向き合い、自分の苦しみを聞いてもらい、それが子どもの頃の親との関係が根底にあることに気づきます。幼少の頃から自分を押し殺して生きてきた、愛されたという実感がなかったとかが分かり、相談内容から外れているようでも外れないのがテレフォン人生相談。騙されたと思って聴いてみてください。▼私も母さんを憎んでもいいということがわかったし、息子を私物化していたということも教えてくれ、救われています。どんな相談でも真剣に向き合って聴くことの大切さを教えてくれるありがたい番組です。

直ちゃん